No.

令和3年8月発行

潟市南区 **長興公社だより**

編集·発行 公益社団法人 新潟市南区農業振興公社

〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780

HP:http://niigata-agri.or.jp

E-mail:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp



令和3年度予算の概要

事業総額

112,838千円

1. 総合振興対策事業

650千円

公社だよりの発行・ホームページの管理

2. 農用地利用対策事業

95,125千円

農用地利用集積円滑化事業推進費

農地賃貸借料

3. 農業振興対策事業

1.213千円

主要果樹生育調査圃設置·水稲病害虫防除

対策·販売促進活動

各種団体・協議会への活動助成

4. 産地活性化総合対策事業

9.900千円

農作業パート事業・暗渠敷設事業

5. 資源循環事業

3.950千円

堆肥散布業務委託

6. 果樹新規担い手等支援事業

2,000千円

主要事業のご紹介

01

CORE BUSINESS ONE

農用地利用対策事業

農用地を貸したい農家(出し手)から、その農地を借り受けて農業経営の規模拡大や効率化を図る担い手農家(受け手)への貸付けのお手伝いをします。また、適正な賃貸借料を設定します。農地の賃貸借については、法改正により令和2年度から南区公社を通しての新規契約はできません。(継続中の契約は期間満了まで)また、利用権設定の方法は下記のとおり二種類ありますので参考にして下さい。

利用権設定の	契約	賃貸借料金	賃貸借料金の支払時期		手数料	通 知	補助金
種類	关 型		耕作者	所有者	一女仆	进 和	冊功並
農業委員会通し	所有者 ⇔ 耕作者	両者の合意 (金納·物納)	両者の合意により決定		0	契約期間終了前	なし
農地中間管理 機構通し	所有者 ⇔ 機構 ⇔ 耕作者	両者の合意	10月31日	11月10日	地代の0.5%	地代精算前 (毎年)	※経営転
			11月30日	12月10日	(出し手・受け手とも)	契約期間終了前	換協力金

- ①契約期間は基本10年間(両者の合意により決定)
- ②土地改良費の負担先は両者の合意により決定

※経営転換協力金

離農・農業部門の減少により、所有する全農地 (10a未満の自作地を除く)を10年以上機構に貸し付ける農業者に対してR1~3:1.5万円/10a(上限50万円/戸)届出期限R3.9月17日(金)まで以降の届出は申請年度が令和4年度になります。R4~5:1.0万円/10a(上限25万円/戸)地域集積協力金と一体的に取り組む場合のみ対象
詳しくは当公社までお問い合わせください。

〈今後の地域農業・農地について 考えてみませんか〉

ご相談や説明会等のご要望等がありましたら、 南区・当公社・最寄りのJAにお問い合わせください。





(1) 耕作交換・受委託の意向調査について

現在、耕作している農地が「遠くて大変だ」・「近くなら増やせる」とお考えの皆さんへ

そのお悩みを当公社が仲介役となって、「遠い農地は委託」「近い農地は受託」することで、分散している農地を集積・集約し、作業の効率化を図り作付面積の維持・拡大をすすめましょう。

調査内容

「受託希望農地」の所在地:南区〇〇字〇〇 (小字まで) 「委託希望農地」の所在地:南区〇〇字〇〇地番〇〇 (地番まで) を9月末までに当公社へ報告ください。

※注意事項

- ① 今回の調査は今後も継続して耕作する方を対象としています。
- ② 受託・委託希望農地は複数あって もかまいません。その後、当公 社でマッチングをおこないます。

02

産地活性化総合対策事業

農作業パート事業

本事業は農家の高齢化や担い手不足に対応して、当公社が 農作業パートを臨時雇用し、農家の作業を請け負うことにより 農家の労力軽減を図ります。

具体的な取組み(R2実績)

①農作業委託農家の募集

55戸

②農作業パートの募集、採用

34人

③農作業パートの農作業技術研修の実施及び農作業の請負

④作業料金の徴収、支払

10.133千円

⑤作業委託農家懇談会、農作業パート懇談会の開催



03

CORE BUSINESS THREE

資源循環事業

当公社が農機具リースにより導入したマニアスプレッダ (堆肥散布機械)をキープクリーン(白根地区)とAOBA (味方地区)へ散布を委託し、下記の事業をすすめてい ます。

- 1. 健康な「土づくり」による環境保全型農業の推進
- 2. 市民に対する安全・安心な「食」の提供
- 3. 農業者と消費者の互恵による地域づくり
- 4. 付加価値を高めた農産物のブランド化と生産拡大 R2実績

白根地区 (豚糞堆肥) 151.7t 散布面積23.8ha 味方地区(牛糞堆肥)868.0t 散布面積86.8ha 合 計 1.019.0t 110.6ha

CORE BUSINESS FOUR

果樹新規担い手等支援事業

南区の果樹生産は生産者の高齢化と後継者不足により、栽培面積の減少と廃園の発生が問題になっていま す。その対策として南区果樹担い手協議会を立ち上げ、課題の解決に向けて下記の取り組みをすすめています。

- ①GIS (地理情報システム) の活用による、 樹園地情報の管理。 将来的には南区の空き家情報も併せて管 理して新規就農希望者へ情報提供する。
- ②里親制度を導入し、新規就農に必要な栽培技術・経営管理・農地のあっせん・地域の農業者への紹介等の 支援をおこなう。
- ③新規就農希望者への家賃補助



新規就農者紹介

「持続可能な 産業としての 農業を目指して」

かね こ りん た ろう **金子 倫太郎** さん 30歳

戸頭地区で就農1年目の金子さんは、地元の農家の出身です。父親の代で農地を農地所有適格法人に貸しました。

美味しい野菜を栽培したい思いで、農地を地域の地主の方から借り受け、露地園芸(ナス、ブロッコリー、レタス、そら豆)で頑張っており、今後についても多品目で栽培することで、災害等のリスクが軽減でき、大幅な収入の減があったとしても問題のない経営をした



いとのことです。

将来は、複数人での共同経営も視野に入れて園芸を主体とした農業を営んでいきたいそうです。その際は、誰が農場にいても間違いがないようにマニュアル化していきたいそうです。

戸頭地区の担い手として、これからも沢山 の経験を積んでいただき、地域の中心人物に なってもらえるよう皆さんで応援しましょう。

職員の紹介

南区地域の活性化と地域農業の持続的発展のため、職員一同力を合わせて尽力いたしますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【職員名簿】

職	名	氏	名	所 属
事務	局長	本 間	芳 則	JA新潟みらい(公社常勤)
事務	局 次 長	鈴木	基	新潟市南区産業振興課(公社兼務)
事務	局員	石川	武志	新潟市南区産業振興課(公社常勤)
事務	局員	坂 井	真 紀	JA新潟みらい(公社常勤)

編集主後記

表紙の写真は、本年度から取り組みを 始めた果樹新規担い手等支援事業で、 里親として認定された農業者への委嘱 状伝達式の様子です。県内外から南区

で果樹栽培を志す就農希望者が就農前後に直面する様々な課題に対して、ご指導頂き南区の果樹産地の維持、発展にご 尽力下さるようお願いします。